

# 道徳便い

鹿島小学校 No. 1

令和4年6月30日

鹿島小学校は、今年度より相馬地方小学校教育研究会において「道徳科」の研究指定校となっています。

道徳教育は、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とします。

鹿島小学校の道徳の重点目標は、以下の通りです。

- ◎目標に向かって進んで努力し、最後までやり抜く子どもを育てる。
- ◎友だちのよさを認め合いながら、優しい気持ちで相手を思いやる子どもを育てる。
- ◎自他の命を大切にすることを育てる。
- ◎我が国や郷土の伝統と文化を大切にできる子どもを育てる。

子どもたちがよりよく生きるための基礎・基本となる道徳性を養えるように、これらの重点目標の達成に向けて道徳の授業を充実させる手立てを工夫し、子どもたちが主体的に考え、話し合える授業を目指していきます。

20日には、4年2組での研究授業が行われました。授業の様子をお知らせします。

○教材名「かさ」 ○価値項目「親切、思いやり」

○授業の概略

登場人物があまり面識のない母親の知人からかさを貸してもらうという「親切」にされた経験から、自分も下級生にかさを貸すという姿を通して、相手の心を思いやり、進んで親切にしようとする心情を高める授業です。

## ○授業を振り返って

子どもたちは、「かさ」という教材を読んで、登場人物の気持ちや、なぜそのような行動をしたのかなどについて話し合いながら学習しました。

登場人物はおばさんにかさを貸してもらってうれしかったから、自分も下級生にかさを貸してあげてうれしい気持ちになっていることに気付くお子さんが多かったです。

「親切な人とはどのような人だと思いますか。目の前に困っている人がいたら、自分だったらどうしますか。」についてワークシートに書いてもらうと、

- ・思いやりのある人 困っている人や泣いている人のことを助けてあげる。自分もうれしくなる。
- ・やさしい人 行動を見て自分からアドバイスする。友だちでなくても助ける。
- ・やさしくて、すぐに助けてくれて、頼りになる人 自分だったらすぐに助けてあげたい。

以上のような回答があり、今後、相手の心を思いやり、進んで親切にしようとする心情が高まっていたようです。

今後も、他教科と関連させながら指導を続けていきます。

